

# 石油供給構造高度化事業 平成22年度 開始 コンビナート連携石油安定供給対策事業

## 知多地区

平成22年度コンビナート連携事業

### ■コンビナートLNG冷水活用連携事業

#### 事業の概要

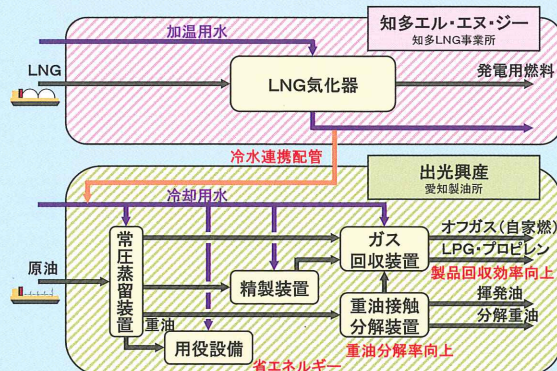
事業者：出光興産(株)、知多エル・エヌ・ジー(株)

実施年度：平成22～24年度

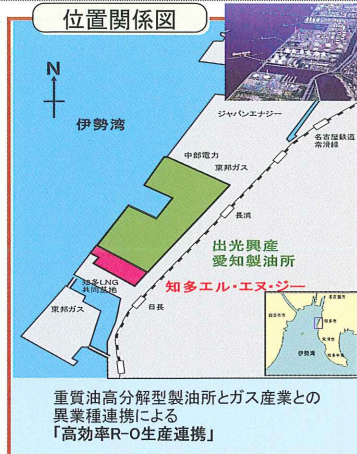
事業内容：知多LNG事業所でLNG気化時に発生する冷水を出光興産愛知製油所へ供給する。製油所では、この冷水を精製装置で活用することにより、設備の冷却効率の向上、蒸留分離工程における分離性能向上による製品回収率の向上および重油接触分解装置の重油分解率向上が可能となり、原油処理量の削減、製造コスト低減を図ることができる。

設置設備：冷水連携設備、冷却効率向上等関連設備

#### 概要図



#### 位置関係図



#### 事業の効果

原油処理削減量：4.0万kl/年（LPG留分、ガソリン留分の高効率増産等による）

連携の促進：異業種との連携に関する本事業は、各地区石油コンビナートの特長ある展開を目指す取り組みに波及することが期待でき、製油所の高効率生産による地球温暖化防止にも貢献する。

## 水島地区

平成22年度コンビナート連携事業

### ■コンビナート高度統合生産連携事業

#### 事業の概要

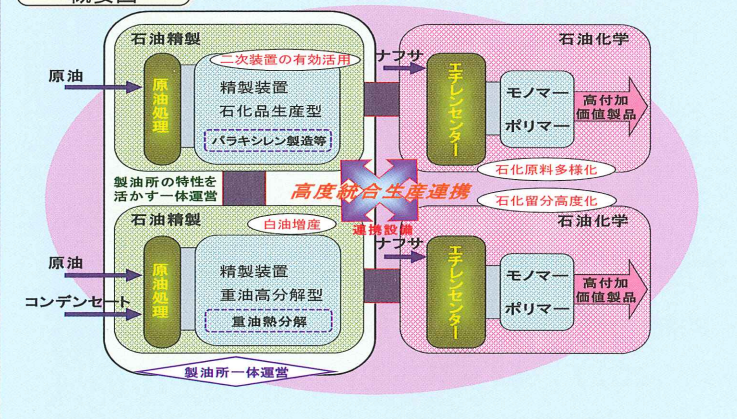
事業者：新日本石油精製(株)、㈱ジャパンエナジー、三菱化学(株)、旭化成ケミカルズ(株)

実施年度：平成22～25年度

事業内容：水島港を隔てた製油所と石化事業所間でコンビナートの統合・一体運営による高効率化・高付加価値化を目指し、LPGから自家燃料用重油まで多くの留分を相互に融通する。重油～石化製品までの幅広い需要変化に対応する設備の有効活用および原料・燃料多様化による安定生産体制を確立するための連携設備の設置により、原油処理量の削減、製造コストの低減を図ることができる。

設置設備：留分の相互融通設備

#### 概要図



#### 位置関係図



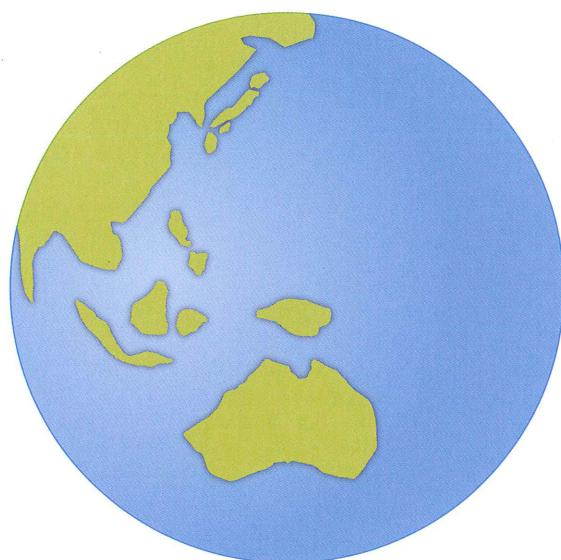
#### 事業の効果

原油処理削減量：34.5万kl/年（分解装置の活用による白油増産、重油および自家燃料の石化原料化等による）

連携の促進：複数の製油所の異なる特長（重油分解型、芳香族最大生産型）を最大限に活かした競争力の強化、更に石油化学産業への安定的な原料供給・原料多様化等によるコンビナートの統合・一体運営が一層進展する。



石油供給構造高度化事業 平成22年度 開始  
**コンビナート連携石油安定供給対策事業**



石油コンビナート高度統合運営技術研究組合

〒105-0003 東京都港区西新橋2-19-5 カザマビル 6階

Tel : 03-5425-2617 Fax : 03-5425-2619



<http://www.ring.or.jp>